



国立大学法人京都大学  
防災研究所  
畠山 满則 教授 監修

# みんなんサポート

災害時に  
問い合わせが多い



避難指示を  
出しても、住民の  
避難に繋がらない



こんな  
お困りごと  
ありませんか！

自治体



住民



いつ避難すれば  
よいかわからない



災害時に備えて  
近所の方とのコミュニ  
ケーション手段が欲しい



住民や地域コミュニティが自発的に行動し、  
自治体と連携して災害に備えてほしい



みんなんサポート

で発展しつづける  
防災コミュニティを支援します！



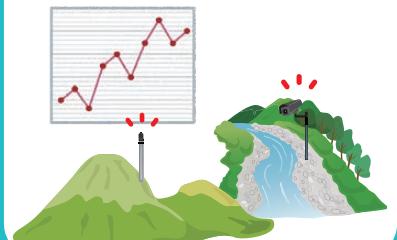
災害の自分事化



防災コミュニティ  
の形成



豪雨災害の  
危険度の見える化



取り組みを地区防災計画に反映

## 提供内容一例

### 防災アプリ



- ・ペットボトル雨量計を用いた  
雨量データの投稿
- ・地域住民のグループチャット
- ・各種データの閲覧  
(雨量データ、IoTセンサ)

### 防災ワークショップ



#### 年3回実施

- ・防災アプリ導入支援
- ・マイ・タイムライン作成支援
- ・地区防災計画作成支援

### IoTセンサ

地域内の山の斜面や  
河川にセンサを設置

#### 土壤水分センサ



斜面の土壤含水率を計測

#### 河川監視レーダ

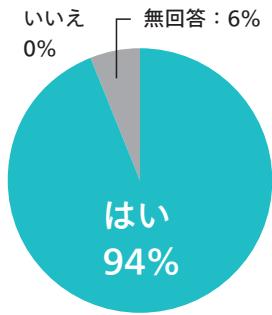


河川の水位と流速を計測

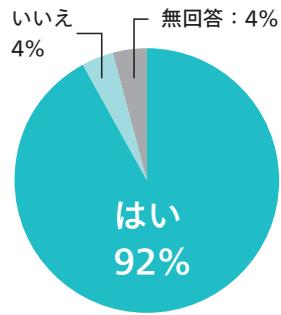
## 実証実験後のアンケート結果

2022年度は全6地区で実施しました(N=65)。

### Q1. 防災意識は高まりましたか？



### Q2. 地域コミュニティは活発になりましたか？



### 参加住民の声

- ・いざという時に備えて近隣の方との話し合いや意識の共有は大切だと思った。
- ・自分の地区的雨量の観測値が把握できることはとても貴重だと思う。
- ・地域の防災について、よりリアルに考えることができる。

住民に対して「防災」に関する意識付けと「我が事化」ができることが、みんなんサポートの良いところだと思う。



●島根県美郷町総務課課長補佐  
防災危機管理室長  
安田 茂樹 様

実証試験を実施して良かったと考えている。  
来年も取り組みを続け、他の地域にも広めていきたい。



●沢谷交流センター所長  
沢谷地域連合自治会事務局長  
渡邊 泰文 様



みんなんサポート®が  
「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靭化大賞)2023」で優良賞を受賞しました。  
「2023 防災・減災×サステナブル大賞」でカンパニー部門ジャパン賞を受賞しました。

## 古河電気工業株式会社

<https://www.furukawaelectric.com/>

研究開発本部 フロンティア統括部 フロンティア実証開発部

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野2-4-3

(070) 4369-3336 担当：成井 公一 fec.smartvillage@furukawaelectric.com

・このカタログの内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

・このカタログに記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。



「みんなんサポート®」キャラクター  
にげろう＆コンちゃん

### 輸出管理規制について

本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国輸出管理規則(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要な手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。